

集約化・提案型森林施業 かわら版

地域ブロック国産材安定供給協議会等を全国各地で開催！

5月28日～7月7日にかけて、全国7ブロックで開催されました。

各都道府県協議会から、地域材の安定供給の現状と今後の取組方針、経済不況を受けた都道府県レベルでの対策、施業集約化・森林施業プランナー育成の取組状況などについて報告と意見交換が行われました。

また、森林管理局からは、景気の減退に伴う住宅着工戸数の減少等により、木材需要が減少し、木材価格が大きく下落していることを受けて、国有林において当面の間、価格動向を踏まえながら、原木の出材量の絞り込みなどを行うとの説明がありました。

林野庁からは、木材利用推進に向けた最近の取組などについて、全森連からは、今年度の集約化やプランナー育成の計画、体制評価の実施方法、地域集約化促進協議会の設立促進などについて説明がありました。

協議会翌日には販売実務者会議が開催されました。中部ブロックにおける複数県が連携した大ロット化による安定供給の取組が報告され、ブロック単位での安定供給の具体的な取組方針や課題、補正予算の活用方法などについて意見交換が行われました。

また、協議会に併せて林野庁が、「森林所有者等を対象とする政策説明・意見交換会」を開催し、政策全般及び21年度補正予算について概要説明と意見交換を行いました。



会議の様子(関東ブロック)



会議の様子(中部ブロック)

各ブロックの協議会、販売実務者会議の概要(安定供給の取組と今後の方針)

ブロック名	概要
北海道	景気が悪化する中、商品開発、生産性向上、人材育成などに取り組み、質の高い製品を顧客に提供することで、需要拡大につなげようと努めている合板工場の取組を紹介。
東北	ブロック内の大型合板工場への供給に力を入れてきたが、不況で受入制限もあることから、供給先の確保やA材の供給にも力を入れていくことが必要との意見。
関東	合板向けカラマツの受入は6月に入りやや好転。ブロック内の新しい合板工場・集成材工場に対する、ブロックまとまっての安定供給について意見交換。
中部	ブロックで連携して供給している製材工場・合板工場から受入制限、価格下げの提案があり厳しい情勢。ブロックを超えた連携先の更なる拡大も必要との意見。
近畿	大型合板工場への安定供給について、ブロック内でまとまって協力・連携体制を構築していく方向で合意。
中国・四国	複数県がまとまって、価格交渉力を高めていかないと、国産材のシェアを拡大していくことはできないとの意見。
九州	不況による受入制限があり、協定どおりの価格、数量で供給することが困難な状況。ブロックの連携を深めるなどして協定の効力を向上させることが必要との意見。

森林施業プランナー育成研修(基礎コース)について

日吉町森林林組合(京都府)で開催する森林施業プランナー育成研修基礎コースが、6月26日で終了しました。平成21年度は、4回開催され152名が受講しました。

平成19年度より始まった当コースは本年度が最後となり、3年間で延べ13回開催され、約450名が受講しました。

当コースは、日吉町森林組合での取組を肌で感じて提案型集約化施業をイメージしてもらい基本的なことを理解した上で、それぞれの地域の実情等に合わせて実践につなげていくものです。

森林施業プランナーと言っても、一人で全てが出来るわけではないので、組織としてもしっかりサポートすることが重要です。

研修生の研修に対する評価は、5点満点の4点で、概ね理解できた結果となっています。しかし、「提案型集約化施業基本テキスト」にもあるように、テキストが基礎となっていますので、研修終了後も何度も読み返し、しっかりと基本を理解することが重要です。

研修生へのアンケート結果(各項目を5点満点で評価)

項目	評価点
①提案型集約化施業の意義と必要性を理解	4.2
②森林施業プランナーの役割について理解	4.3
③施業提案書の基本的な考え方を理解	4.0
④コスト計算や年間事業計画の基本的な考え方を理解	3.9
⑤長期的な森づくりと間伐の意義について理解	4.0
⑥研修後に取り組むことを整理	4.0
⑦今回の研修の内容、進行についての満足度	3.6
平均	4.0

注 研修生152名中、147名が回答。

平成21年度基礎コースブロック別受講者数

ブロック名	研修受講者数			
	森林組合等事業体	県	連合会	計
東北A	6	1		7
東北B	4		1	5
関東	27	2	3	32
中部A	5	3	1	9
中部B	18	2	2	22
近畿	23	5	2	30
中国・四国A	17	2	3	22
中国・四国B	11	1	1	13
九州A	8	1	1	10
九州B	2			2
計	121	17	14	152

注 別途、北海道ブロックでは、地域版基礎コースを開催

地域実践研修始まる!

7月8日より、東北Aブロック、東北Bブロックを皮切りに、地域実践研修(Ⅰ)が始まっています。東北Aブロックでは、森林組合職員36名、事業体職員3名、県職員12名、県森連職員6名等合計65名が参加し、二泊三日の行程で実施されました。

東北Aブロック(釜石地方森林組合)の様子

研修1日目は、岩手県森連(千田氏)より、提案型集約化施業を通じて「血の通った」組織へと改善しようという熱のこもった講義、モデル組合(釜石地方森林組合高橋参事)からは、これまでの取組等について講義、続いて、岩手県と遠野地方森林組合の連携した取組事例がパネルディスカッション形式で紹介されました。

2日目は、モデル組合の施業団地におけるコスト分析について講義後、現場を視察しました。午後からは全国部会講師(相川氏)等により、コストに関するおさらい講義や施業団地の収支シミュレーション、素材生産の年間事業計画の演習などが実施されました。

3日目は、地域実践研修(Ⅱ)に向けて、自ら設定した施業団地の現況調査や見積書の作成など、やるべきことを説明後、宿題をやる上で、理解不足の箇所の再説明等を行いました。最後は、今後どのような手順で具体的に宿題を仕上げていくかアクションプログラムを作成しました。



挨拶する曾根組合長(釜石地方森林組合)



岩手県森連、岩手県、遠野地方森林組合によるパネルディスカッション



モデル組合による講義



施業団地の収支シミュレーション



県のアドバイスももらいながらアクションプログラム作成

今回のニュースレターの発行は9月上旬を予定しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyukai/syuyakuka/newsletter.html>

企画・発行: 林野庁林政部経営課 提案型施業推進事務局 TEL: 03-3501-3810/Fax: 03-3502-1649